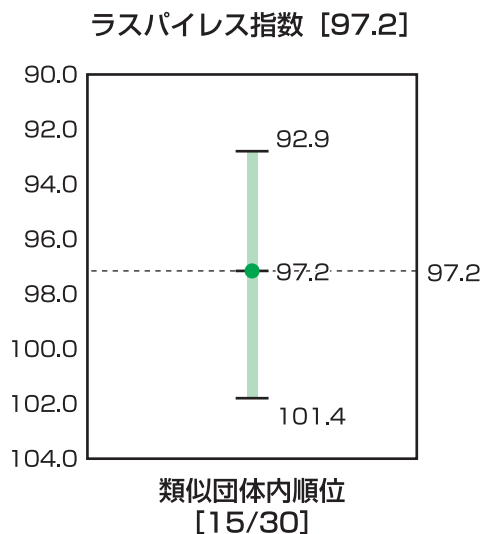


給与水準の適正度（国との比較）

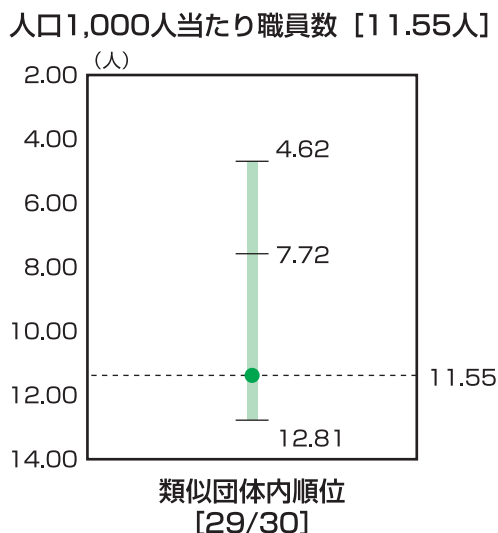


全 国 市
平均97.6
全 国 町 村
平均93.7

ラスパイレス指数

本市は、平成16年度に給与水準の異なる1市4町4村で市町村合併を行いました。そのうち国の基準より高いラスパイレス指数の数値を示す旧自治体は1団体、低い数値を示す旧自治体は8団体でした。職員数で比較すると、新市において国の基準を下回る旧自治体の職員が約半数を占めているため、本市のラスパイレス指数は、全国市平均をやや下回る結果となっています。

定員管理の適正度



全 国 市 町 村
平均8.12
鹿児島県市町村
平均9.61

人口1,000人当たり職員数

本市は、合併後間もないため、職員数も類似団体の全国平均（7.72人）を上回っています。現在、平成17年9月に公表した「薩摩川内市定員適正化方針」において、今後4年間にわたって平成17年4月現在の職員数1,347名を、新規採用職員の抑制と施設の管理・運営や事務・事業の外部委託等の推進により、160名削減し、平成21年4月には、1,187名（合併時比13%減）の職員体制にすることを目指しています。また「薩摩川内市アウトソーシング方針」により、市有施設（1,357施設）については、指定管理者による管理代行を進める施設を561施設とし、平成19年4月までに390施設が管理代行される予定です。また、市営の老人ホームや保育園の民営化（民間譲渡等）、学校給食施設（13施設）を5施設に統合することを目指し、現在、手続きを進めています。

用語解説

- 財政力指数** 地方公共団体の財政力を示す指数で、財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。
- 経常収支比率** 経常的な経費（人件費や公債費など）の経常的な一般財源収入（地方税など）に対する割合です。
- 起債制限比率** 地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標の一つで、地方債元利償還金などに係る支出の合計額に充当された一般財源に対する割合で過去3年間の平均値。起債制限比率が20%以上の団体については、一定の地方債（一般単独事業に係る地方債）の起債が制限され、30%以上の団体については、さらにその制限の度合いが高まる（一部の一般公共事業に係る地方債についても起債が制限される）こととなります。
- ラスパイレス指数** 地方公務員の給与水準を表すものとして、一般に用いられている国家公務員行政職（一）職員の俸給を基準とする地方公務員一般行政職職員の給与の水準を指します。